



解答と解説は 56 ページにあります。

新聞で
読解力アップ!

Do
チャレ

ワークシート

読解力は学力の基本です。記事を読んで、問題にチャレンジしよう。

ベトナムで人気高糖度トマト

道産技術生かし現地栽培・販売

北海道銀行が出資する地域商社の北海道総合商事（札幌）と農業生産法人アド・ワン・ファーム（同）などは今月、ベトナム中南部ダラットで栽培した高糖度トマトの試験販売を始めた。ベトナムでは珍しい10度以上の糖度に「まるで果物のような甘さ」と消費者にも好評で、両社は「北海道の農業技術を生かして作つたトマト」として周辺国にも輸出していく方針だ。

標高約1500mの高原地帯ダラット。室温30度超のハウス内に、南国の日差しをたっぷり浴びて育つたトマトが実る。「甘さが強い。予想以上の出来だ」。販売前日の13日、アド・ワン・ファームの宮本有也社長（40）は、北海道総合商事の天間幸生社長（45）とともに天間に、「本当に赤い実をほおばり、満足そうに話した。

2社は昨年、食品製造・飲食業などのロータスグループ（ホーチミン）と合弁会社「北海道ロータスファーム」を設立。日本の「フルティカ」と「桃太郎」の2種類のトマトの栽培許可



ド・ワン・ファーム（同）などは今月、ベトナム中南部ダラットで栽培した高糖度トマトの試験販売を始めた。ベトナムでは珍しい10度以上の糖度に「まるで果物のような甘さ」と消費者にも好評で、両社は「北海道の農業技術を生かして作つたトマト」として周辺国にも輸出していく方針だ。標高約1500mの高原地帯ダラット。室温30度超のハウス内に、南国の日差しをたっぷり浴びて育つたトマトが実る。「甘さが強い。予想以上の出来だ」。販売前日の13日、アド・ワン・ファームの宮本有也社長（40）は、北海道総合商事の天間幸生社長（45）とともに天間に、「本当に赤い実をほおばり、満足そうに話した。

2社は昨年、食品製造・飲食業などのロータスグループ（ホーチミン）と合弁会社「北海道ロータスファーム」を設立。日本の「フルティカ」と「桃太郎」の2種類のトマトの栽培許可

最適な気候、経費も安く周辺国にも輸出へ

トマトは、14、15の両日、ベトナム最大都市ホーチミンで開かれたロータスグループのフェアで販売され、計約260tのトマトがほぼ完売した。ベトナム

では4、5度の糖度のトマトが主流。試食したファン

は「こんな甘いトマトは初めて」と驚き、10ヶ月の子供

の母親のグウェン・ウイン

さん（31）も「日本の品質なら子供の健康に良さそう。

また買いたいわ」と話した。

予定販売価格は1kg当たり約2千円。地元産の通常

栽培のトマトの4～5倍だが、ロータスグループのレ

・バン・メイ最高経営責任者（47）は「試食の反応は良い。贈答用として需要はある」と自信をみせる。グル

ープ会社の飲食店やスーパーで販売予定だ。

周辺国では、1kg当たり約9千円で販売されている

日本産高糖度トマトもある。北海道総合商事の天間

社長は「ベトナムから輸出すれば、日本産の輸入品の半値以下で販売できる。年

内にも香港やシンガポールなどへの輸出を検討したい」と意欲を示した。

（ダラットとホーチミンで堂本晴美、写真も）

北海道新聞朝刊 2018年4月20日（金）

(1) ■について、現地のどのような気候がトマト栽培に最適なのですか。簡単に説明しなさい。

(2) ■とあります。高額なトマトがベトナムで売れると考えているのはなぜですか。トマトの特徴と、期待される需要から説明しなさい。

(3) ■とあります。ベトナムから周辺国にトマトを輸出しようと考えたのはなぜですか。簡単に説明しなさい。